

第27章 中西部の概況

中西部地域の概要と経済動向

I-1. 中西部地域の概要

図表 27-1 中西部地域に属する州

地域名	属する州名
中西部	マットグロッソ・ド・スル州、マットグロッソ州、ゴイアス州、連邦首都府

中西部は面積の広い 3 つの州と、ゴイアス州に囲まれた領域を有する連邦首都府によって構成される。5 地域区分の中では北部に次いで広い領域を占め、国土の 2 割ほどの面積を有する一方、約 1,400 万人の人口は 5 地域区分で最も少ない。産出する域内総生産の額も全国の 9.2%ほどであり、北部に次いで低い水準である。

I-2. 経済動向

中西部は全般的に農業や畜産業が盛んである。3 州にまたがるエリアから東北部にかけて広大なセラードが広がっており、1970 年代ごろから農業開発が始まった。もともとは農業に適していない土壌であったとされるが、施肥などによる土壌改良によって、現在はブラジル有数の大豆、穀物等の産地となっている。1979 年から日本の支援によって推進されたセラード開発プロジェクトが繰り広げられたのもこのエリアである。

近年は製造業の立地も進んでいるとされるが、域内総生産に占める割合は高くはない。

また、鉱業の分野では、まとまった量の埋蔵が期待される資源もあるものの、探鉱や開発はあまり進んでいないのが現状である。

I-3. 事業環境

広大な土地に、少数の都市が点在している状況にある。各都市はそれぞれに発展しているものの、都市間の交通インフラ等の整備が引き続き期待される。現在、連邦政府が主導して国土を南北に貫く幹線道路、幹線鉄道の整備が進められている。こうしたインフラの導入が進めば、物流面での事業環境は向上すると考えられる。